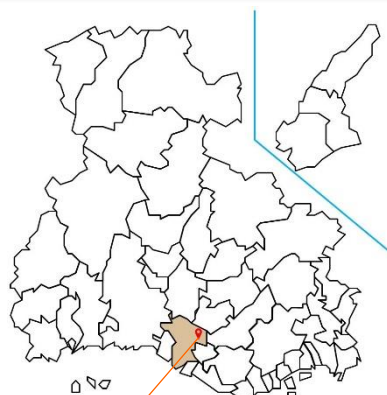


農業

地産地消

6次産業化



加古川市



純国産デュラム小麦「セトデュール」の圃場



加古川パスタシリーズ/乾燥・生・スナック

概要

- ・八幡地域は兼業農家が大半を占め、集落毎に営農が行われていたが、担い手の確保と農地の有効利用による持続的な農業経営を実現するため法人化に取り組み、平成17年5月八幡宮農組合を設立。増加する離農者の圃場を「作業計画・生産管理支援システム」で管理し、1000筆を超える圃場業務と事務を省力化するなど地域のモデルケースとなるよう営農に努めている。
- ・設立当初から農業法人としては先進的に6次産業化に取り組み、日本初の純国産デュラム小麦「セトデュール」を原材料に「加古川パスタ」を製造（委託）。



農研機構デジタル圃場管理システムの活用

成果

- ・5年間でデュラム小麦の作付面積を約20ha拡大し、「加古川パスタ」の出荷量も約8倍と右肩上がりに増加。また、加工品の売上高も倍増している。
- ・「加古川パスタ」は、地域の安全・安心ブランドとして兵庫県認証食品を取得し、市内および近隣市町の学校給食にも提供するなど、地産地消、食育、さらには食料自給率の向上に貢献している。
- ・「加古川パスタ」の販路拡大に努め、純国産パスタの町、国産デュラム小麦発祥の地として、加古川市の知名度向上に貢献している。